



# 玉島っ子だより

第5号 令和6年 7月 2日

文責：校長 松尾 信広

【学校教育目標】 **たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成**

## ☞ 「唐津市教育の日」の授業参観等、ありがとうございました！

6月9日(日)の「唐津市教育の日」に授業参観を行いましたところ、多くの保護者・ご家族・地域の皆様にご来校いただきました。ご多用の中、誠にありがとうございました。本校でのこの日の授業は、多くの学級で「道徳」を行い、その学年に応じて具体的な場面を設定しました。解決に向かうためにはどんな気持ちで何を発言し、どう動けばいいのか考えを深める道徳もあれば、みんなで力を合わせることの心地良さを味わう道徳もありました。これからもいろいろなアプローチで、道徳心と正しく実践する力を育てていきたいと思えます。午後からは、浜玉中で「浜玉町青少年育成大会」が開かれ、代表として6年生が出席しました。その中で、〇〇さんが意見発表を行い、スポーツが教えてくれたことや、そのおかげで身に付いたことなどを話し、これからスポーツをする人にエールを送りました。また、講演をしてくださった3×3プロバスケットチームの選手に〇〇さんが大観衆の前で堂々と質問したり、〇〇さんがチームワークを大切にしながらバスケットで挑んだりするなど、大活躍の6年生で感動しました！



## ☞ 全校集会で「自分で考えて選ぶ」ことの大切さを話しました。

梅雨本番となり、線状降水帯の発生等による大雨が全国で観測され始めました。テレビでは、先日まで気象学の天才が活躍する自然災害のドラマが放送されていましたが、情報を集めて、自分の経験と掛け合わせながら結論を導くことの大切さと難しさを感じました。それと同時に、これからの時代を生きていくためには、「自分で考えて選択する」力が必要だと強く思いました。子ども達の生活で言えば、「今日は傘がいるかな。」「このおかずを食べるには箸かな、スプーンかな。」「この問題を解くにはたし算かな、かけ算かな。」「図書室でどの本を借りようかな。」「ゴミが落ちているけどどうしようかな。」「どんな言葉を使ったら友だちが笑顔になるかな。」などなど、毎日が選択することだらけです。この「選択する」という経験を学校でも積ませて、生きていく力に繋げていきたいと思えますので、ご家庭でもお子さんの成長に合わせて、「選択する」機会をつくってあげてください。そのために大人は、子どもに任せたり、待ったり、尊重したり、褒めたり、助言したりすることが大切になってきます。また、その選択の中には「相談する。」があってもいいと思えます。自分の知識や経験だけでは答えが出せないことも多々ありますので、人を頼ることも、助けてもらうことも立派な選択です。そして、それは協働できる仲間(チーム)となり、自分の選択を後押ししてくれることに繋がると思えます。



学校よりご報告があります。病休補助としてご勤務いただいていた〇〇先生が、勤務期間を終了され、6月30日に本校をご退職されました。この1か月間、子ども達や玉島小学校を力強く支えていただきました。寂しくなりますが、本校とご縁を結んでいただき感謝しております。なお、昨日7月1日より、育児休暇をとられていた〇〇先生が復帰いたしました。全校集会で子ども達にも挨拶をし、本人も張り切っております。今後とも、学校運営につきましてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。